

# 赤字ラッシュの点滅 ガス事業会計



しかし、最近の本町人口の高き、市街化区域の土地価格の高騰や地域住民が就業する企業の進出の停滞化から、人口の急増傾向は徐々に鈍化し、ガス需要の大幅な伸びは今後期待できない状況となつています。

黒埼町のガス事業は、昭和四十年の創設以来すでに十五年を経過しています。その間、本町の立地条件は新潟市のベッドタウンとして都市化現象を示し、人口の急増とともにガスの消費量も増加しました。

昭和五十五年度では、年度当初から苦しい企業努力を続けてきましたが、財政状況にやや好転のきざしが見られたものの、省エネルギー運動の浸透、原油価格の高騰による電力料金的大幅な値上げ、人件費、諸物価の高騰などから、支出が増大し、収入を大幅に上回つています。

## ガス供給状況

|            | 52年                  | 53年   | 54年   | 55年   |
|------------|----------------------|-------|-------|-------|
| 供給戸数       | 4,611戸               | 4,754 | 4,888 | 5,009 |
| 年間使用量      | 4,209千m <sup>3</sup> | 4,432 | 4,612 | 4,977 |
| 供給率        | 94.9%                | 94.3  | 95.1  | 93.2  |
| 1ヶ月1戸平均使用料 | 76.1 m <sup>3</sup>  | 77.7  | 78.6  | 82.8  |

この生産供給会社の東邦天然ガス株式会社では、卸売価格を1m<sup>3</sup>当たり現行三十四円を七月一日から三十三円に値上げをし、さらに十二月一日から四十七円に、五十七年十二月一日からは五十二円の大値上げを要求されております。

## 借入金未償還元金

| 借入先      | 54年度      | 55年度      |
|----------|-----------|-----------|
| 大蔵省      | 116,777千円 | 126,774千円 |
| 郵政省      | 13,975    | 12,953    |
| 公営企業金融公庫 | 174,023   | 186,969   |
| 計        | 304,775   | 326,696   |

百七十六万円の巨額な累積赤字が予想され、企業運営に重大な支障をきたすことは必至です。

## 近郷市町村ガス料金表

| 市町村名 | 1m <sup>3</sup> あたり | 改訂年月日       |
|------|---------------------|-------------|
| 新潟市  | 104円02銭             | 54.12.20    |
| 西川町  | 80円98銭              | 56.7.10(予定) |
| 白根市  | 96円99銭              | 54.12.20    |
| 小須戸町 | 83円30銭              | 54.12.20    |
| 吉田町  | 79円59銭              | 55.8.18     |
| 分水町  | 103円99銭             | 55.7.9      |
| 黒埼町  | 66円81銭              | 55.5.1      |

第三回臨時議会  
臨時議会  
第三回臨時議会は五月二十五日開かれ、議案推せん農業委員に次の人が選出されました。  
●大矢誠策(板井三)  
●保岡定次郎(黒島四)



# 農業委員会委員の一般選挙

## 投票日七月十七日(金)

昭和五十六年七月十九日をもって、黒埼町農業委員会委員の任期が満了するため、選挙管理委員会では、公職選挙法(農業委員会に関する法律第十一條)において準用する(一)に基づき、七月十日選挙告示、七月十七日(金)を選挙期日(投票日)として、選挙が執行されます。

立候補予定者説明会の開催  
日時 六月三十日午後一時三十分  
会場 黒埼町役場議場  
立候補者に対して、法律に規定された事項を理解していただく必要と、立候補届出の事務を正確に処理するため説明会を開催いたします。

立候補予定者一人につき二人以内の範囲で出席してください。  
なお、必要な書類は当日交付します。(筆記用具持参ください)  
説明内容(立候補のしおりによる)  
1. 立候補届の受付順の決定方法  
2. 立候補届出書及び添付書類の記載内容、事前審査について  
3. 選挙運動に関する事項  
4. その他

## 建設に三三〇二のご協力を

知恵おくれの人たちに職業指導や生活指導を行い、幸せな生活ができるようにと、新潟市、西蒲原郡の市町村は、昭和五十一年から三三〇二の建設運動を進めてまいりました。そして、県当局のご理解をいただき、このたび新潟市、藤ノ木地内に用地の確保ができ

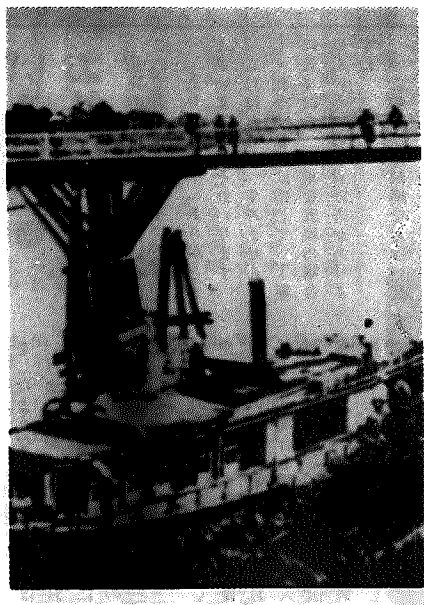
昭和五十七年度建設、五十八年度開所の予定です。  
ごそれのように今年度は、国際障害者年であり、「完全参加と平等」の精神のもとに、地域住民総参加の意義に基づいて、地域内住民の方々の募金をお願いすることになりました。どうぞこの趣旨をご理解くださいまして、みなさんの温かいご協力をお願いいたします。  
なお、社会福祉協議会理事である民生委員の方々が、担当の地区自治会長さんを通じてお願いいたします。

# 安進丸の難船と宝来橋

白根から下って来た安進丸が途中で故障し、大野宝来橋の橋脚に衝突するという事件が起こったのは明治四十三年九月八日のことである。

つたようだったが、男性一人が身を逃れることが出来ず、あえない最後をとげ、かなり大きなセンセーションを巻き起したものだ。ちやうどその日は天気も悪くなかつたが、大野地先を流れ下る船中から救いを呼ぶ声もしていた。その声を聞きつけて、新町方面の堤防上に十人程がかけつけたが、この急場をどうしたら良いか思案するばかりで、どうすることも出来ず、船の流れと共に堤防を下るのみであった。間もなく汽船が橋に衝突と同時に転覆した。

声と、濁流の音の中に、一人の子供が橋脚と船体の間に腕をはさまれているではないか、人々の騒ぎはこの驚きでさらに頂点に達した。なんとしても泣き叫ぶこの悲惨な子供の命だけは救ってやらなければと、皆が話し合い、手を切り取るより外ないという声もあつたが、どうしてそんなことができよう。ついに橋脚が切り落され、またたく間に橋は一けたずつ落ち、その下になつた子供はそれっきり姿を水中に没して死んでしまった。このほかにも、乗客の中に嫁入りする親子などもおり、悲惨な最



後をとげた。船は壊れた橋脚と一緒に上甲板をチラホラ水にひたし